

2022年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年3月11日

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス
 コード番号 3733 URL <https://www.softs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宮崎 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 伊藤 純一郎
 四半期報告書提出予定日 2022年3月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6350-7222

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第1四半期の連結業績(2021年11月1日～2022年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第1四半期	5,708	3.3	984	15.3	993	15.6	684	16.1
2021年10月期第1四半期	5,526	—	854	—	859	—	589	—

(注) 包括利益 2022年10月期第1四半期 682百万円 (11.9%) 2021年10月期第1四半期 609百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第1四半期	125.98	—
2021年10月期第1四半期	108.47	—

※2020年10月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2021年10月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年10月期第1四半期	30,470	25,981	85.3
2021年10月期	31,580	25,815	81.7

(参考) 自己資本 2022年10月期第1四半期 25,981百万円 2021年10月期 25,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2022年10月期	—	—	—	—	—
2022年10月期(予想)	—	0.00	—	95.00	95.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,645	2.0	2,372	10.9	2,381	10.7	1,648	11.4	303.32
通期	27,000	6.8	4,877	13.9	4,913	13.3	3,402	13.4	625.97

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年10月期1Q	5,488,000 株	2021年10月期	5,488,000 株
② 期末自己株式数	2022年10月期1Q	56,850 株	2021年10月期	55,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年10月期1Q	5,432,088 株	2021年10月期1Q	5,436,165 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) ハードウェア仕入実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、景気回復に進むものと期待されたものの、国内でのオミクロン株の流行や半導体不足による材料調達難が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、医療機関の役割分担・連携体制の構築において課題が浮き彫りとなりました。そのような中、2022年には診療報酬改定も控えており、政策としてもオンライン診療・服薬指導等を推進するなど、ICTの活用を通じた効率的・効果的な医療提供体制、診療の在り方が検討されております。

基幹システムとなる医療情報システムは、中小規模病院での普及率は徐々に増加しているものの、依然として未導入の施設も多い状態であり、一方で既に医療情報システムを導入している医療機関等でのリプレース市場も見込まれ、引き続き医療情報システム市場における有力ベンダー数社間の競争は激しさを増しております。

このような事業環境の下、当社グループは電子カルテシステムをはじめとする医療情報システムの開発・販売・導入・保守を中心に事業展開し、顧客満足度の向上に努めてまいります。

2022年6月には東京支社の稼働を予定しており、将来的に関東圏を中心とした営業・保守体制の強化を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、感染症対策の徹底やリモートでの導入作業等を進めたこともあり、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微であります。

この結果、売上高は5,708百万円(前年同期比3.3%増)、利益面におきましては営業利益984百万円(同15.3%増)、経常利益993百万円(同15.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益684百万円(同16.1%増)となりました。なお、セグメントの業績につきましては、当社グループは医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,109百万円減少し、30,470百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1,587百万円の減少、受取手形及び売掛金457百万円の減少、棚卸資産189百万円の増加、建設仮勘定1,000百万円の増加及び投資その他の資産に含まれる繰延税金資産151百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,275百万円減少し、4,489百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金561百万円の減少、未払法人税等932百万円の減少、流動負債「その他」に含まれる預り金84百万円の減少、未払金445百万円の増加及び未払消費税等65百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して166百万円増加し、25,981百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益684百万円の計上及び第53期利益剰余金の配当516百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2021年12月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,216,186	5,628,799
受取手形及び売掛金	4,195,482	3,737,763
商品	1,027,514	1,113,556
仕掛品	404,671	508,094
その他	311,073	301,265
貸倒引当金	△4,139	△3,697
流動資産合計	13,150,790	11,285,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,450,710	2,414,551
機械及び装置(純額)	1,208	1,173
工具、器具及び備品(純額)	175,316	165,637
土地	11,616,534	11,616,534
建設仮勘定	3,133,100	4,133,100
有形固定資産合計	17,376,870	18,330,997
無形固定資産	23,175	20,824
投資その他の資産	1,029,628	833,332
固定資産合計	18,429,674	19,185,154
資産合計	31,580,465	30,470,937
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,892,115	2,330,424
未払法人税等	1,117,011	184,453
その他	1,682,855	1,902,240
流動負債合計	5,691,981	4,417,119
固定負債		
退職給付に係る負債	72,872	72,130
固定負債合計	72,872	72,130
負債合計	5,764,854	4,489,249

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,916,827	1,916,827
利益剰余金	23,025,264	23,193,472
自己株式	△74,736	△74,736
株主資本合計	25,714,755	25,882,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,854	98,723
その他の包括利益累計額合計	100,854	98,723
純資産合計	25,815,610	25,981,687
負債純資産合計	31,580,465	30,470,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年1月31日)
売上高	5,526,545	5,708,811
売上原価	4,125,275	4,133,640
売上総利益	1,401,269	1,575,171
販売費及び一般管理費	546,944	590,256
営業利益	854,324	984,915
営業外収益		
受取利息	87	55
受取配当金	1,283	1,369
受取事務手数料	2,372	2,372
受取賃貸料	2,179	2,004
その他	1,565	5,787
営業外収益合計	7,488	11,589
営業外費用		
譲渡制限付株式関連費用	2,684	3,225
雑損失	88	0
営業外費用合計	2,773	3,226
経常利益	859,040	993,278
特別損失		
投資有価証券売却損	2,957	-
特別損失合計	2,957	-
税金等調整前四半期純利益	856,083	993,278
法人税、住民税及び事業税	254,952	156,311
法人税等調整額	11,485	152,658
法人税等合計	266,437	308,970
四半期純利益	589,645	684,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	589,645	684,307

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益	589,645	684,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,928	△2,130
その他の包括利益合計	19,928	△2,130
四半期包括利益	609,573	682,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	609,573	682,176
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取り扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) ハードウェア仕入実績

当第1四半期連結累計期間のハードウェアの仕入実績について、当社グループは単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	
	仕入高(千円)	前年同期増減率(%)
ハードウェア	1,839,006	△6.0
合計	1,839,006	△6.0

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)			
	受注高(千円)	前年同期増減率 (%)	受注残高(千円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	1,622,592	8.5	3,003,778	36.1
ハードウェア	1,569,026	△19.0	3,278,315	18.4
その他	339,102	104.8	483,718	90.5
合計	3,530,721	△1.9	6,765,812	29.4

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	
	販売高(千円)	前年同期増減率(%)
ソフトウェア	1,653,020	7.4
ハードウェア	2,164,916	△1.3
保守サービス	1,745,364	10.0
その他	145,509	△30.0
合計	5,708,811	3.3